

日本集中治療医学会倫理委員会主催  
第8回集中治療における終末期患者家族のこころのケア講座 開催案内

- I 開催日：2014年11月1日（土）～3日（月・祝）の3日間
- II 会場：聖路加国際大学 2号館 東京都中央区築地3丁目8-5
- III 募集定員：36名 \*定員に達しましたら申し込みを締め切ります。  
\*受講者の決定に際しましては、より多くの施設からの参加を優先するため、申し込み者が多数の場合は、同一施設からお申込みいただいた方をお断りする場合がございます。ご了承ください。  
\*受講決定後の勝手な参加者の変更はできません。当日、申し込み者と別の参加が認められた場合は、参加をお断りすることをご了承ください。
- IV 参加費：39,800円（税込）  
\*受講決定通知後に期日までにお振り込みください。お振り込みいただいた参加費は、如何なる理由でも返金できませんのでご了承ください。  
\*参加費の領収書は、振り込み明細をもって代用させていただきます。施設提出用の参加費の領収書が必要な場合は、当日、会場受付で発行いたします。  
\*参加費には、消費税・昼食代が含まれております。
- V 講座の内容
1. 研修講座の目的  
「終末期患者家族へのこころのケアの基本姿勢」に則り、終末期にある患者家族への適切なこころのケアができる集中治療スタッフを養成することで、わが国の集中治療の質的向上に貢献する。
2. 教育目的  
<GIO>  
終末期にある患者家族に対し、「終末期患者家族へのこころのケアの基本姿勢」に則った適切な患者家族へのこころのケアが実施できるようになる。  
<SB0>  
➤ 「終末期患者家族へのこころのケアの基本姿勢」の内容を熟知することができる  
➤ 患者家族へのこころのケアと倫理的配慮の重要性を理解することができる  
➤ 患者家族の心理・社会的状況を理解することができる  
➤ 患者家族の心理・社会的状況を適切にアセスメントすることができる  
➤ 患者家族の心理・社会的問題の解決に必要なこころのケアを立案することができる  
➤ 患者家族に適切な方法でこころのケアを実践できる  
➤ 実践した患者家族へのこころのケアを自ら評価することができる
3. 受講対象
- 日本集中治療医学会の会員であり、かつ、集中治療領域で5年以上の臨床経験があるリーダーシップがとれる看護師で、所属部署長（あるいはその代理者）から推薦が得られる者
  - 日本集中治療医学会の正会員であり、かつ、集中治療領域で3年以上の臨床経験がある医師
  - 集中治療領域に関わるソーシャルワーカー、臨床心理士など
- 1) 1回受講者数：36名
  - 2) テキストについて  
スライド資料をベースにしたテキスト
  - 3) 演習について  
6名1グループとし、6グループで実施する  
ロールプレイでは、さらにグループを2つに分ける
  - 4) インストラクターについて  
1グループに1名のインストラクターを置く  
インストラクターは、原則として倫理委員会委員または倫理委員会委員経験者、急性・重症患者看護専門看護師とする。

5. 研修の方法と内容（3日の間集中講座）

<1日目>

| 11月1日                | テーマ  | 内容   |                              |                                |
|----------------------|--|--|------------------------------|--------------------------------|
| 5分<br>(9:55-10:00)   | オリエンテーション  |  |                              | 倫理委員<br>吉里孝子                   |
| 10分<br>(10:00-10:10) | 本講座の趣旨   | 講座の目的、目標、内容について  |                              | 倫理委員<br>吉里孝子                   |
| 60分<br>(10:10-11:10) | 終末期患者家族へのこころのケアの基本姿勢と集中治療での終末期医療におけるこころのケアと倫理的配慮 | 基本姿勢の説明と臨床での使い方について。患者家族に必要なこころのケアの概論を解説する。さらに、起こりやすい倫理的問題を紹介し、倫理的配慮の必要性を説明する。 |                              | 筑波大学附属病院<br>小児ICU<br>杉澤 栄      |
| 10分<br>(11:10-11:20) | 休憩   |  |                              |                                |
| 60分<br>(11:20-12:20) | 集中治療の終末期における患者家族の一般的な心理・社会的特徴とその対応               | 家族ニードを含む家族の心理・社会的特徴を解説する   |                              | 山口大学大学院<br>医学系研究科<br>立野淳子      |
| 60分<br>(12:20-13:20) | 休憩（昼食）   |  |                              |                                |
| 10分<br>(13:20-13:30) | ロールプレイの説明  |  | 聖路加国際病院<br>田村富美子<br>インストラクター |                                |
| 90分<br>(13:30-15:00) | ロールプレイ   | 集中治療で起こりやすいある場面について、家族役、看護師役、観察者役でロールプレイをする。                                   |                              |                                |
| 10分<br>(15:00-15:10) | ロールプレイのまとめ                                       |  | 聖路加国際病院<br>田村富美子             |                                |
| 15分<br>(15:10-15:25) | 休憩   |  |                              |                                |
| 60分<br>(15:25-16:25) | 集中治療の終末期における患者家族が起こししやすい精神症状・悲嘆反応とその対応           | 集中治療の終末期にある患者家族が起こししやすい精神症状（複雑性悲嘆含む）とその対応を解説する。                                |                              | 東邦大学医療センター大森病院<br>心療内科<br>天野雄一 |

<2日目>

| 11月2日                | テーマ                   | 内容   |                              |                          |
|----------------------|-----------------------|--|------------------------------|--------------------------|
| 5分<br>(9:25-9:30)    | オリエンテーション             |  |                              | 倫理委員<br>吉里孝子             |
| 60分<br>(9:30-10:30)  | 集中治療の終末期における患者家族ケアの実際 | 集中治療の終末期における患者家族看護の実際を具体的事例で解説する。            |                              | 東京都立駒込病院<br>緩和ケア科<br>鄭 陽 |
| 10分<br>(10:30-10:40) | 休憩                    |  |                              |                          |
| 60分<br>(10:40-11:40) | コミュニケーション技法とカウンセリング技法 | 家族ケアに必要なコミュニケーション技法とカウンセリング技法を解説する。          |                              | 東京都立小児医療センター看護部<br>栗原順子  |
| 45分<br>(11:40-12:25) | 休憩（昼食）                |  |                              |                          |
| 5分<br>(12:25-12:30)  | ロールプレイの説明             |  | 聖路加国際病院<br>田村富美子<br>インストラクター |                          |
| 90分<br>(12:30-14:00) | ロールプレイ<br>*講義を踏まえての演習 | 集中治療で起こりやすいある場面について、家族役、看護師役、観察者役でロールプレイをする。 |                              |                          |

|                      |                |   |                           |
|----------------------|----------------|---|---------------------------|
| 15分<br>(14:00-14:15) | ロールプレイのまとめ     |   | 聖路加国際病院<br>田村富美子          |
| 10分<br>(14:15-14:25) | 休憩             |   |                           |
| 45分<br>(14:25-15:10) | 医療チームの調整       | 家族ケアに必要な医療チームの調整を解説する。<br>病棟でのケースカンファレンスや倫理カンファレンスの実施方法を含む。 | 東京医科大学附属<br>病院看護部<br>明神哲也 |
| 60分<br>(15:10-16:10) | 倫理分析と家族ケアの実際   | Jonsen の臨床倫理 4 分割表を解説し、事例を通して倫理分析と家族ケアの実際を説明する。             | 千葉県救急医療センター看護部<br>比田井理恵   |
| 10分<br>(16:10-16:20) | 演習について         | こころのケア検討シート・演習事例について説明する。                                   | 倫理委員<br>立野淳子              |
| 80分<br>(16:20-17:40) | 演習 1<br>アセスメント | 事例について、こころのケア検討シートを用いて、グループワークで、心理・社会的状況をアセスメントする。          | 倫理委員<br>立野淳子              |

<3日目>

| 11月3日                | テーマ            | 内容  |                                       |
|----------------------|----------------|---|---------------------------------------|
| 5分<br>(9:25-9:30)    | オリエンテーション      |   | 倫理委員<br>吉里孝子                          |
| 80分<br>(9:30-10:50)  | 演習 2<br>問題の抽出  | 事例について、グループワークで、心理・社会的状況をアセスメントを踏まえ、問題点を明らかにする。 | 山口大学大学院<br>医学系研究科<br>立野淳子             |
| 80分<br>(10:50-12:10) | 演習 3<br>ケア計画立案 | 事例の問題を解決するために必要な具体的な家族ケアを立案する。                  | 山口大学大学院<br>医学系研究科<br>立野淳子<br>インストラクター |
| 40分<br>(12:10-12:50) | 休憩 (昼食)        |   |                                       |
| 30分<br>(12:50-13:20) | 演習 4<br>発表準備   | グループワークで話し合った内容を発表するためにホワイトボードまたは模造紙に記述する。      | 山口大学大学院<br>医学系研究科<br>立野淳子<br>インストラクター |
| 10分<br>(13:20-13:30) | 休憩             |   |                                       |
| 90分<br>(13:30-15:00) | 討議とまとめ         | アセスメント、問題点、立案した家族ケアを、同じ事例を演習したグループ内で発表し、討議する    | 山口大学大学院<br>医学系研究科<br>立野淳子<br>インストラクター |
| 10分<br>(15:00-15:10) | 研修修了書の配布       |   | 倫理委員<br>吉里孝子                          |

**注) 都合により、プログラムおよび終了時刻が変更になる可能性があることを御了承ください。**

VI 研修修了証の発行

1. 受講される方は、3日間すべての参加された方に、理事長・看護部会長連名の研修修了証を発行します。
2. 遅刻・早退された場合、その時間が長時間にわたる場合は、修了証の発行ができないことがあります。
3. 修了者は、研修修了者として学会に登録いたします。

## VI 申し込み方法

1. 下記の「申し込みはこちら」をクリックし、申し込みフォームにお入りください。  
お申し込みはこちら
2. 参加申込者には、申し込み受理を通知するメールが届きます。申し込み後 1 日経過してもメールが届かない場合は、日本集中治療医学会事務局 [jimu@jsicm.org](mailto:jimu@jsicm.org) にご連絡をください。
3. 受講講決定者には、別途、申込時にご登録いただいた E-mail アドレスに E-mail で通知いたします。